

1 建学の精神と理念

本校は、苫小牧市の発展に伴い、急速に進んだ鉄北明野地域の住宅化による児童の増加により、緑小学校並びに美園小学校の過密化を解消するために、平成6年に分離し、苫小牧市内21番目の小学校として新設された学校である。校舎の建設に当たっては、21世紀を担う子どもの育成を図る場所にふさわしい「ゆとりとうるおい」をテーマに進められ、従来の学校のイメージを一新する造りとなった。また、本校の校章には、明るくゆったりとして気品があり、「開かれた学校」として地域とともに発展する願いが込められている。地域の教育力を共有し、地域とともにある学校、そしてその姿を発信できる学校へ、教育実践を未来につなぎ、発展し続ける明野小学校でありたい。

2 学校教育目標

児童一人一人の有する能力を伸ばしつつ、社会において自立的に生きる基礎を培い、また社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的に、次の学校教育目標を掲げる。

「未来社会を築く力を身に付ける児童の育成」

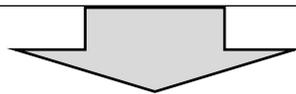
- | | |
|-----------------|---------------------|
| 【知】 進んで学ぶ子 | ～意欲をもち、創造性のある児童の育成～ |
| 【徳】 思いやりの心をもつ子 | ～情操豊かな児童の育成～ |
| 【体】 じょうぶな体をつくる子 | ～心身ともに健康な児童の育成～ |

H6, 4 制定

3 目指す子供像 【指導の重点】

本校が6年間で育成を目指す資質・能力は以下の3つである。学校教育活動全体を通して、3つの資質・能力をはぐくんでいく。

- | | |
|-------|------------------|
| 【協働性】 | 自分を律し、人を大切にする子 |
| 【主体性】 | 自分の考えをもち、表現する子 |
| 【実践力】 | 自分の夢に向け、チャレンジする子 |



明野中学校区の目指す15歳の姿

「夢に向かって、共に歩む子」

4 今年度の課題 【経営の重点】

新時代の明野小の教育を推進し、本校が抱える課題克服のため、以下の3点を今年度の経営上の重点とする。

(1) 落ち着いた学びと生活の環境づくり

子どもの心に寄り添う姿勢を大切にしながら何でも話せる空気を授業や生活で創り上げ、子ども同士や子どもと教師との良好な関係を築く。併せて、健康管理を徹底することを通し、「安全・安心で楽しい学校」づくりに努める。どの学年においても本校の学習規律（明野スタンダード）を定着させるとともに、うちガク等の学習習慣、日常生活習慣や規範意識を身に付けさせる。また、問題行動等については道徳科の授業の質的向上や組織的な対応を大切に丁寧で積極的な生徒指導を継続し、落ち着いたある学校環境や風土をつくる。また、タブレット端末の日常の効果的な活用で学びの幅を広げるとともに、利用のマナーや約束についても同一歩調を大切にして、使いやすい環境を整えていく。

(2) 働き方を踏まえ、子どもが生きる教育活動づくり

子ども達が生き生きと取り組む姿が想像でき、なお且つ、働き方のバランスを考えた効果的・効率的で魅力ある教育活動という目標に向かい、新しい時代にふさわしい内容の創造と定着を図る。教育活動推進に際し、ねらいや取組、目指す子どもの姿について発信し、保護者の納得を得られるように努める。

組織的・協働的・機動的な校務運営を推進し、各学年・ブロック・分掌において、一人一人が平均的に業務を分担するとともに、複数体制や学校が一つのチームとして業務を推進するなど互いに補完し合い、特定の職員に仕事が偏らない体制を整えていく。また、教育活動や校務運営の現状、問題点等を出し合い改善の方向性を考える「働き方改革コアチーム」を機能させる。

(3) 地域・家庭との連携と信頼関係づくり

情報共有・同一歩調・組織連携を重視することで、学校の組織力向上を目指すとともに、子どもを取り巻く課題に対し、全職員が同じ対応や保護者の思いを大切にする対応を心がけることを通して、地域や保護者の安心や信頼を高めるようにする。本校が目指す教育活動やそのよさについて、地域や保護者と共有し理解を広げていくことで教育効果が上がることを意識し、様々な場面や機会を見つけて、その活動のねらいや内容、子どもの姿を伝え、説明責任を果たしていく。

5 学校経営のテーマ

レ ッ ツ
Let' s チャレンジ わくわく 明野小 !

6 全教職員の行動の指針【職務遂行の重点】

- | | |
|-------------------|----------------------|
| (1) チャレンジする姿勢を | 新たな課題に柔軟に、積極果敢に挑戦 |
| (2) 学び続ける姿勢を | 子どもにとって最も重要な教育環境は教職員 |
| (3) 全教職員が一枚岩に | 学校は組織体、ベクトルを合わせて |
| (4) すべての人に誠意ある対応を | 家庭・地域・関係諸機関との連携 |
| (5) 常に最悪を想定して | 初動を迅速に、事実を正確に報連相・記録 |
| (6) 不祥事のない職場を | 交通違反、体罰、不適切な行為はしない |
| (7) 心身ともに健康な身体を | 先を見通し優先順位をつけて効率的な仕事を |

7 育成を目指す資質・能力の実現に向けた取組【日常の実践項目】

【協働性】 自分を律し、人を大切にする子

実践項目	評価指標
<ul style="list-style-type: none"> ○道徳科の授業の質的向上「考え議論する道徳」 ○<u>日常的な教育相談とその対応「いじめ見逃しゼロ」</u> ○積極的な生徒指導「生徒指導提要进行を踏まえて」 ○<u>校内生活の定着「あいさつ、時間を守る、廊下歩行」</u> ○基本的生活習慣の確立「生活リズム定着のための取組」 ○健康管理の指導「熱中症、感染症対策」 ○安全管理「災害時の引き渡し、安全点検」 	<p>児童アンケート85%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「悩みを相談できる」 ・「あいさつができた」 ・「きまりを守っている」

【主体性】 自分の考えをもち、表現する子

実践項目	評価指標
<ul style="list-style-type: none"> ○<u>学びの土台づくり「信頼関係、明野スタンダード」</u> ○<u>主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善</u> <u>「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実</u> ○<u>特別支援教育の充実「組織的で適切な支援、保護者連携」</u> ○タブレット端末の効果的な活用「文房具のように」 ○うちガクの充実「学年×10分+10分」 	<p>児童アンケート85%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業がわかる」 ・「タブレットを活用している」 ・「うちガクをしている」

【実践力】 自分の夢に向け、チャレンジする子

実践項目	評価指標
<ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラム・デザイン「生活科・総合的な学習の時間を核に」 ○<u>プロジェクト活動の充実「子どものやりたいを実現」</u> ○<u>縦割り班活動の定着「遠足、清掃等」</u> ○学校行事、校内諸活動の充実「ねらいを明確に、よさを発信」 ○子どもと向き合う時間の確保「働き方改革」 ○<u>地域・校種間連携「中学校区エリアの活動、コミスク」</u> 	<p>児童アンケート85%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「友達と協力してなかよく活動できた」 <p>教職員アンケート85%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「定時退勤日等を活用してリフレッシュしている」